

東京藝術大学音楽学部声楽科入学20周年記念コンサート

今歌盛り



ソプラノ

遠藤 紗千
金持 亜実
栗林 瑛利子
城 えりか
高橋 結里
田崎 美香
田中 暁子
土居 愛実
平中 麻貴
松山 麻奈美



メゾ・ソプラノ

鮎澤 由香理
山田 文子
渡邊 智美

テノール

小野 弘晴
河野 浩亮
山本 耕平

バリトン

加来 徹
又吉 秀樹
渡辺 洋輔

バス・バリトン

新見 準平

ピアノ

石垣 絢子
徳備 祐子
松田 祐輔

合唱出演

ソプラノ
石松 惇美

アルト
岡本 彩
川崎 やよい

バス
泉 智之

プログラム

麗しのデスピネッタに 歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」より (W.A.モーツァルト)
美しい恋の乙女よ 歌劇「リゴレット」より (G.ヴェルディ)
マリー・テレーズ! 「ばらの騎士」より (R.シュトラウス)
鷗 (木下 牧子) ほか

2024年4月28日(日)

14:30 開場 15:00 開演

早稲田奉仕園 スコットホール

全席自由：4,000 円

主催：H16Singers/リサイタル実行委員会
後援：東京藝術大学音楽学部同声会
お問い合わせ：Tel.090-2166-2636
E-mail h16singers@gmail.com
未就学児のご入場はご遠慮くださいませ

H16 Singers の最新情報はこちらから
Instagram X

チケット
申し込み
フォーム



今 歌盛り～入学 20 周年記念コンサートによせて～

2004 年 4 月。多くの芸術家たちがくぐった歴史のある煉瓦で出来た正門から、厳しい入試を通り抜けた私たちが永遠に続くであろう芸術の道へ足を踏み入れました。時に泣き、時に笑い、意見を戦わせながらも、息を合わせ共に奏でる日々。心と技術を磨き、それぞれの音楽を高めるために尊い時間を過ごした仲間が再び、今、集います。平成 16 年度東京藝術大学音楽学部声楽科入学メンバーの「今」を、お聴きください。

遠藤 紗千 (ソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、東京音楽大学大学院声楽専攻オペラ研究領域修士。イタリア、マントヴァにて研鑽を積む。オペラでは『ドン・ジョヴァンニ』『フィガロの結婚』『魔笛』『シモン・ボッカネグラ』『椿姫』『坂面舞踏会』『妖精ヴィッリ』『ラ・ボエーム』『外套』『道化師』『アンドレア・シェニエ』『こうもり』『ヘンゼルとグレーテル』等の主要役を演じる。また、宗教曲でもソリストを務める。

金持 亜実 (ソプラノ)

藝大在学中、マイペースな性格を遺憾なく発揮し、のんびり研究と研鑽に励み大学院博士課程修了。学生時代は「オペラサロントナカイ」でウェイトレスのアルバイトをしながら良い歌を聴き、美味しいワインの味を覚えた。現在、主に宗教曲やコンサートのソリストとして数々の作品に出演し、パッサ・コレギウム・ジャパンでも研鑽を積んでいる。

栗林 瑛利子 (ソプラノ)

横浜市出身。学部卒業時に同声会賞、アカンサス賞受賞。同大学院（オペラ科）修了時には「私はオペラが嫌いだ」から始まる論文を提出し物議を醸す。イタリア国立パルマ音楽院を最高点で卒業。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XIII ヴェル 《子供と魔法》本公演にて安楽椅子・こうもり役で出演し好評を博す。同役でセイジオザワ松本フェスティバルにも出演。そのほか多数のオペラ公演、各地でのコンサートに出演する。

城 えりか (ソプラノ)

東京都出身。藝大在学中メゾソプラノからソプラノへ声種変更。友人と練習室に籠りオペラを歌い漁る日々を過ごす。学生結婚、後の第一子出産時は同期の仲間からの多大なる協力を得て無事卒業。卒業後はイタリア・ジェノヴァへ一家 4 人で留学。『子は宝』というイタリア人の深い愛に触れ過ごす。現在、同居家族はオペラ歌手と 3 歳から 17 歳の三男一女。周囲の理解と協力のもと舞台上に立ち続けている。

高橋 結里 (ソプラノ)

埼玉県出身。埼玉県立芸術総合高校音楽科卒業。学部入試はモーツァルト歌曲、学部卒業はモーツァルト《フィガロの結婚》スザンナのアリア。モーツァルト大好き。卒業後、二期会オペラ研究所マスタークラス修了。現在は在学中に所属していたパッサ・コレギウム・OB 会の夏のアカデミーを楽しみに自分を鼓舞激励する日々です。埼玉県立芸術総合高校音楽科、埼玉県立伊奈学園総合高等学校、慶應義塾女子高等学校非常勤講師。二期会会員。

田崎 美香 (ソプラノ)

修士課程を経て二期会オペラ研究所へ進み修了時優秀賞受賞。『ジュリオ・チェザレ』にクレオパトラ役、『蝶々夫人』（宮本亞門演出）にケート役で出演。また、『ディズニー・オン・クラシック』のツアーに参加するなど、幅広く活動中。学生時代はピアノに扶んだ練習室の予約紙が剥がれていないかを逐一チェックして回っていた。桶川混声合唱団指導者、(株)八重洲ピアノ社講師。二期会会員。

田中 暁子 (ソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。在学中は、林康子恩師のもと発声鍛錬に明け暮れる。才能やユーモア溢れる同期を眩しく遠くに見つめながら地味に過ごし、もっとみんなと交流しキャンパスライフを謳歌すべきだったと強く無念を抱いている。これまでにオペラでは、ブッチェニ「ラ・ボエーム」ミミ、「蝶々夫人」タイトルロール、ヴェルディ「椿姫」ヴィオレッタ、團伊玖磨「夕鶴」つうなどを演じる。

土居 愛実 (ソプラノ)

東京都出身。在学時は直野資先生に師事、某テーマパークでのアルバイトに勤しむ。2011 年～2018 年、劇団四季に在籍。オペラ座の怪人、夢から醒めた夢、サウンドオブミュージックなどさまざまなミュージカル作品に出演。

平中 麻貴 (ソプラノ)

愛媛県出身。同大学院独唱科修了後は「第九」ソプラノソロを務める他、オペラでは「フィガロの結婚」スザンナ、「魔笛」夜の女王などを演じる。またソロイストメンバーとして多くの童謡唱歌を歌う。聖徳大学音楽学部講師。大学時代は 23 時近くまで学校に残り練習やおしゃべりしたり、加未君などの同級生とコーズコーナーでアルバイトをしたり、知る人ぞ知る芸大ラグビー部チーフマネージャーをしたとても楽しい日々。

松山 麻奈美 (ソプラノ)

幼い頃より音楽に親しみ、大学でも仲間と楽しい日々を過ごした。8 年間一切の歌声を失い絶望するも、近年突如として声が復活。夢であった音楽教室を開校、再び音楽の日々を過ごしている。復活した声は取るに足らない物かもしれないが、大切な仲間に出会う。

鮎澤 由香理 (メゾ・ソプラノ)

藝大卒業後、桐朋学園大学研究科を経て、伊政府奨学金として、ローマ・サンタチェチーリア音楽院を満点卒業。在学時は三林輝夫、伊原直子各氏等に師事。皆に愛の指導を受け（怒られ）ながら、のびのびと学生生活を満喫した。D ガラ（2 年時の芸祭）出演のため、川上先生の前で個別審査を受けた「カルメン」は自分の最初のレパートリーとなった。

山田 文子 (メゾ・ソプラノ)

東京藝術大学声楽科卒業。卒業時に同声会賞受賞。同大学修士課程独唱科修了。これまでに菅田昭弘、伊原直子の両氏に師事。ブッチェニ「ジャンニスキッキ」チェスカ役、ヘンデル「メサイア」、下ホルザーク「ミサ曲二長調」、ベートーベン「交響曲第九番」などのソリストとして幅広く活躍。また、CASIO China が支援する UT 有限公司主催の UT アーティストの一人に選出される。ロッカーに当時のバイト先のステッカーがまだ貼ってある。(2023 年目撃)

渡邊 智美 (メゾ・ソプラノ)

大学院修了後は同応用音楽学研究室に教育研究助手として勤務しながら日本各地でコンサートやオペラに出演。その後映画美術学校アクターズ・コースに学び第 10 期修了。近年の出演作◎展示「美しい HUGO」（井川 丹作曲「あわいの声——虹の上を飛ぶ船 総集編 I・II」との対話——）◎舞台『パッソスの信女—ホルスタインの雌』（Q/市原佐都子 劇作・演出）等。学校で好きだった場所は図書館、よく食べたのはキャッスルの中華そば。

小野 弘晴 (テノール)

東京芸術劇場「椿姫」ジェルモン役でオペラデビュー。その後 09 年「椿姫」アルフレードでテノール転向。伊ローマサンロレンツォムジカマスタークラス修了。親好サニーオペラ新人賞及びテノール大賞受賞。第 44 回イタリア声楽コンクール入選。第 23 回太陽カンツォーネコンクール第 1 位。第 8 回日光国際音楽祭声楽コンクール第 1 位及び公益推進協会賞受賞。桐朋学園大学芸術短期大学講師。二期会会員。

河野 浩亮 (テノール)

卒業後、ミラノの Lirica internazionale Mantovani にて 2 年間研鑽をつむ。イタリア滞在中に歌劇『ラ・ボエーム』でデビュー。クルーズ船飛鳥 II に乗りコンサートや合唱、声楽教室を開き、世界を巡る。これまでに多くのオペラ、宗教曲のソリストとしても多くの演奏会に出演。合唱の指導等も行い、カルチャースクール等の講師も務める。

山本 耕平 (テノール)

鳥取県出身。在学中にイタリア声楽コンクール、日伊声楽コンクールに優勝。ミラノ・ヴェルディ音楽院修了。五島記念文化財団オペラ新人賞、文化庁新進音楽家海外研修制度など受賞多数。近年の出演にはオペラ・イン・ウィリアムズバーク『ラ・ボエーム』、ハノイ・オペラ『アニー・姫』、東京二期会『午後の曳航』など。

加未 徹 (バリトン)

福岡県出身。大学修了後は二期会オペラ研究所を総代で修了。最優秀賞および川崎静子賞受賞。パッサ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。オペラでは日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、二期会『ルル』シェーン博士など多彩な役で出演。テレビ朝日『題名のない音楽会』等メディアにも多く出演。大学時代はコーズコーナーや、栗運びのバイトをしつつ週末はサッカー観戦に明けくれる日々。平日は盟友の田中俊太郎君と練習室に籠り歌曲の研究に没頭した。洗足学園音楽大学非常勤講師。

又吉 秀樹 (バリトン)

東京藝術大学声楽科を、毎日のようにキャッスルにおいてハンバーグ大盛りカレーがけを食べ卒業。同大学大学院を、キャッスルにおいてハンバーグ大盛りカレーがけばかり食べ修了。

渡辺 洋輔 (バリトン)

富山県立呉羽高等学校音楽コース、東京藝術大学声楽科卒業。富山県オペラ協会会員、とやま音楽文化協会会員、東京藝術大学同声会富山県支部会員。平成 29 年度富山県芸術文化協会奨励賞、第 70 回富山県芸術祭奨励賞受賞。現在、富山県立呉羽高等学校教諭。

新見 準平 (バス・バリトン)

大学院在学時に東京労音「第九」でデビュー。第 19 回日本モーツァルト音楽コンクール第 1 位。藝祭の C 年合唱で司会を務めて以降、そう言う役割を担うことが多い。D 年バスタ屋「La voce」で毎日伴奏し初見を鍛えられた。また、師多田羅道夫先生のモノマネは他の追随を許さなかった。お笑い担当、意外と繊細。体重は 3 桁と 2 桁を行き来している。恐らく中器晩成型で、大学講師をやりながらまだ研究生として芸大で学び、九州と東京の二重生活を送る。

石垣 絢子 (ピアノ)

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了。奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門中田喜直賞の部優秀賞。2015 年より石垣絢子個展シリーズ「言葉と音楽」を開催し朗読・声楽・ピアノの編成による新曲の発表を続け、近年は歌曲や合唱曲委嘱作品のほか写真家、イラストレーター、書家とコラボ作品など手がけている。

徳備 祐子 (ピアノ)

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。2011 年武生作曲賞受賞。2014 年神奈川県立横浜明朋高校校歌「希望の名前」を作曲。2009 年より Hot Generation オリジナルミュージカルに出演しており、楽曲制作にも携わる。現在尚美ミュージックカレッジ専門学校ディプロマ科金管オーケストラスタディ伴奏助手。

松田 祐輔 (ピアノ)

名古屋市長久米高等学校を経て、東京藝術大学卒業。第 54 回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第一位。モニングコンサートにて芸大フィルハーモニー管弦楽団と共演。歌曲伴奏にも積極的に取り組み、第 22 回奏楽堂日本歌曲コンクール及び、第 28 回日本ドイツ歌曲（リート）コンクールにて優秀共演者賞受賞。室内楽では第 2 回ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール第三位。レリゲン音楽祭(ドイツ)にて招演演奏。2023 年東海市芸術劇場、アーティスト・イン・レジデンスに就任。

早稲田奉仕園へのアクセス

